

津軽塗・つがる漆商品化事業

—ギフト市場を見据えた製品開発事業—（第1報）

Commercialization business of Tsugaru urushi and Tsugaru-nuri - Product development business that aims at gift market - (Part 1)

小松 勇、館山 大、阿保歎子*、鶴賀洋子*
（*青森県工業振興課）

平成 19～20 年度に実施した「津軽塗産地イノベーション推進事業」において、業界全体の経済基盤の強化を図るために新規需要の開拓が必要不可欠であることから「一般購買層（若年、大衆向け）」市場への進出に向けて、品質を保持しながらも手頃な価格帯と現代的なデザインを両立させた魅力ある津軽塗新定番商品として「津軽うるおい漆」を開発した。

そこで本事業では手頃な価格の新たな商品として売り出すためには、購買層にその製品がどのような価値を持っているかを理解して頂くために製品情報伝達方法の研究を行う。推進体制は、国内外の工芸品とマーケットに通じている専門家（スーパーバイザー）を招聘し、津軽塗業界・支援機関・弘前市・県工業振興課・当研究所で共同事業体である「津軽塗・つがる漆商品検討委員会」を設立し、実務担当の組織として委員会で提案された課題を検討するために、ワーキンググループを設置した。

製品情報伝達方法の研究成果としてプロモーションツールの開発、さらにそのツールを活用したプロモーション実施、新製品開発を実施した。



検討委員会



首都圏による展示即売会



「津軽うるおい漆」パッケージ



Web プロモーション講習会